

下記のとおり、2023（令和 5）年 11 月 7 日（火）に STE 現象報告会を開催します。今回は 4 集会合同（※）で、京都大学及び Zoom でのハイブリッド開催となります。

開催日時： 2023 年 11 月 7 日(火)

開催場所：ハイブリッド開催

京都大学 楽友会館 (吉田キャンパス 吉田南構内, 東山近衛東入)

吉田キャンパス マップ: <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida>

Zoom によるオンライン

※ 合同 4 研究集会（11 月 7-10 日）（中間圏・熱圏・電離圏 (MTI) 研究集会、太陽地球系物理学分野のデータ解析手法、ツールの理解と応用研究集会、宇宙空間からの地球超高層大気観測に関する研究会、STE 現象報告会）共通のフォームです）

※ 4 集会合同のポスターセッション（現地開催のみ@京都大学理学研究科セミナーハウス）も予定しています。奮ってご参加ください。

概要：STE 現象報告会は、複合系の科学をめざす宇宙天気の研究會です。

實際の観測を題材にして、我々を取り巻く複雑な自然を研究しています。

直近に限らずこれまで観測した興味深い現象についての活発な議論を通

して太陽地球系と宇宙天気を深く理解するための場を提供します。

研究集會のトピック：

### （1）概況報告

直近の半年間（2023 年 3 月～2023 年 10 月）の現象の概況報告。

黒点数の増加

2023 年 6 月に月平均値 163.4 を観測。13 ヶ月平均値は 2023 年 3 月に 121.2 を観測。いずれも第 24 太陽活動周期の最大値を上回る。

最近の大きな磁気嵐

2023 年 3 月 23 日、2023 年 4 月 23 日、2023 年 5 月 6 日、2023 年 5 月 19 日、2023 年 6 月 15 日、2023 年 8 月 5 日、2023 年 9 月 12 日、2023 年 9 月 19 日

最近の X クラス大規模フレア

2023 年 3 月 3 日、2023 年 3 月 29 日、2023 年 6 月 20 日、2023 年 7 月 3 日、2023 年 8 月 5 日、2023 年 8 月 7 日

など

## (2) 現象報告

上記報告期間に限らず、興味を引く様々な現象の観測データ、シミュレーションデータ、独自の解析結果などの発表。

## (3) 話題提供、議論（特に、宇宙天気現象の予測精度向上に向けて）

最近得られた新たな知見や発見、古いイベントの再解析、複数イベントの比較解析など。学生からシニアな研究者までが気軽に議論できる場の提供。

また、宇宙天気現象の予測精度向上に向けた、既存研究の包括的な講演や、新たな機器・手法による観測の試み・成果などの研究発表。

問合せ先：

- ・九州大学国際宇宙惑星環境研究センター 阿部修司 [abe.shuji@nipr.ac.jp](mailto:abe.shuji@nipr.ac.jp)
- ・情報通信研究機構 宇宙天気予報グループ 久保勇樹 [kubo@nict.go.jp](mailto:kubo@nict.go.jp)
- ・名古屋大学 宇宙地球環境研究所 西谷 望 [nisitani@isee.nagoya-u.ac.jp](mailto:nisitani@isee.nagoya-u.ac.jp)
- ・京都大学生存圏研究所 海老原祐輔 [ebihara@rish.kyoto-u.ac.jp](mailto:ebihara@rish.kyoto-u.ac.jp)